

ORACLE

お客様のクラウド化をご支援する Oracleソリューション

日本オラクル株式会社
クラウド・システム事業統括
2023年10月

Safe harbor statement

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することを確約するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。

オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期及び価格については、弊社の裁量により決定され、変更される可能性があります。



お客様の真のクラウド化をご支援するOracleソリューション

【自治体のお客様の声】

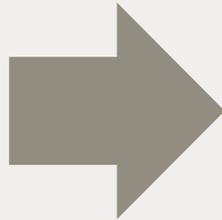
クラウドにいったら高くなる？
可用性も心配。。

検討したいけど、どう進めよう。。



クラウド化の計画を立てたいけど、
予算がない。。

あるべき姿のイメージがわからない



無償の計画策定
支援サービス



豊富なラインナップ
オンプレミスから
パブリッククラウド



低価格・高可用性のクラウド

Oracle Cloud Lift Services 概要
貴社の状況や感心事項に応じて組み合わせてご利用できます

貴社のビジネス目的や要件の実現には何が不可欠？ クラウド環境への準備な移行だけでは無く、クラウド化の本来の目的である敏捷性、柔軟性、回復性などに基づき、効率化、コスト最適化されたシステムを実現するために実際の導入手順などを参考にしてケーススタディを参考に、試験的に特定システムに導入して、適切な候補、ツール移行手法などのフィードバックのご支援をさせていただきます。

<p>① ケーススタディ支援 (貴社内の目標合わせのため)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営層目線でのクラウド移行の価値 クラウド移行の導入した回数調査 各社クラウドでの成功事例の共有 クラウド移行は成功、OCIが得意、柔軟性 等 	<p>② フィジビリティスタディ支援 (お客様層のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> 合意形成、プロセスの短縮に向けた定期的な検討 外部専門家チーム構成 データセンター入居の最適化 組織プロセス最適化
<p>③ 実証検証 (PoC) 支援 (移行と習熟のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> OCI上での動作性の検証 特設専用環境での検証の確保 	<p>④ 準備立上げ支援 (プロジェクト開始前段階のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務/検証環境の立ち上げ 要件定義/設計の活用状況利用

ベスト・プラクティス構成で最適化されたオラクルのEngineered System

3つのデプロイモデル + 1

On-Premise, Cloud at Customer, Public Cloud, クラウド環境 (OCI Exadata Cloud)



オラクルは最新の技術を利用して、**第2世代のOracle Cloud Infrastructure (OCI)**を抜本的に作り直しました。

その結果、以下のお客様価値を提供できるまでに至っています。

1. 卓越した費用対効果
2. 業界屈指のセキュリティ強度
3. 基幹システムのクラウド化容易性=パフォーマンス



クラウドを実現するための弊社支援サービス

- ・対象システムが多すぎる、複雑すぎる
- ・現行システムが肥大化、ブラックボックス化している
- ・人材不足、期間も足りない
- ・どこから始めれば良いのか分からない
- ・費用が掛かり過ぎる など

Oracle Consulting Services【有償サービス】

- ・ITロードマップ策定
- ・クラウド移行の妥当性検証
- ・クラウド環境への移行
- ・クラウド利用への運用改善

Oracle Cloud Lift Services【無償サービス】

- ・ケーススタディ支援
- ・フィジビリティスタディ支援 ※特定システムに限定し実施
- ・実機検証（PoC）支援 ※特定システムに限定し実施
- ・早期立ち上げ支援



Oracle Cloud Lift Services 概要

貴社の状況や感心事項に応じて組み合わせてご利用できます

貴社のビジネス目的や要件の実現には何が必要か？ クラウド環境への単純な移行だけではなく、クラウド化の本来の目的である俊敏性、柔軟性、回復性などに加えて、効率化、コスト最適化されたシステムを実現するために実際の導入事例などを参考にしたケーススタディをもとに、試験的に特定システムに限定して、適切な技術、ツール移行手法などのフィジビリティスタディのご支援をさせていただきます。

① ケーススタディ支援 (貴社内の目線合わせのため)

- 経営層目線でのクラウド活用の価値
- クラウド・リフトの落とし穴と回避策
- マルチクラウドでOCIが選ばれる理由
- クラウド他社比較／OCIの特徴・将来性 等

② フィジビリティスタディ支援 (合意形成のため)

- 合意形成・プロジェクト起案にむけた包括的な検討
- 外部ネットワーク構成
- データベースサービスの最適な構成
- 簡易アセスメント

③ 実機検証 (PoC) 支援 (試行と習熟のため)

- OCI上での動作性の確認
- 性能や可用性など重点事項の確認

④ 早期立ち上げ支援 (プロジェクト早期開始のため)

- 開発/検証環境の立ち上げ
- 要件定義/設計の裏付けに利用



ケーススタディの実施実績例 (OCLS)

業種/事業体	参加者の声	セッションテーマ	取り扱い事例
基幹システムパッケージ (国内大手)	「コスト最適なアーキテクチャと運用の姿のヒントになった」	OCIが採用される理由 - オンプレミスとの対比 - クラウドベンダー毎の特徴と比較 - 課題毎の事例	<ul style="list-style-type: none"> IaaS+PaaS総合スコアの意味合い フロントワークス(費用と拡張性、運用負荷の課題) 商社 - Aurora (性能課題) オンラインゲーム事業 - Redshift等(性能課題)
電機	「各事業所のマルチクラウド促進させたい意向が強まった」	マルチクラウド事例と考慮点 - 利用の背景と事例 - 考慮点 (遅延/コスト)	<ul style="list-style-type: none"> ぴあ (マルチクラウド) AzureとOCIのマルチクラウド構成事例 (Azure InterConnect)
小売業	「レガシーシステムからクラウド化の検討背景や移行の効果が上申に利用できそう」	レガシーシステムから脱却 (データドリブン) - 移行背景・効果	<ul style="list-style-type: none"> 京王百貨店: DWHおよびBI基盤 Data Lake 構想を含む新DWH/BIとOCI事例
金属	「クラウドリフトの判断のための参考にしたい」	ミッションクリティカルシステム移行 - 段階的な移行とその後 - 他社標準からのOCI選択理由	<ul style="list-style-type: none"> エンタメコンテンツ事業 (ハイブリッドクラウド) パーソルキャリア様 (段階的なクラウドリフト) ラクラス(Elasticな拡張性)
自治体向け パッケージ	「自社でのクラウドネイティブの目的と活用のヒントになった」	クラウドネイティブ概要 クラウドシフトの目的と課題	<ul style="list-style-type: none"> NTTドコモ様 (コンテナ化/開発・運用自動化) TIS北海道(コンテナ化)
通信	「クラウドリフト時のメリット以外の課題が参考になった」	陥りやすいクラウドリフトの勘所 - 計画準備フェーズ - 実行フェーズ	<ul style="list-style-type: none"> エディオン (計画準備フェーズでの課題) エンタメコンテンツ事業 (実行フェーズでの課題)
金融	「OCLSを活用してみたくなった」	OCLS活用事例 - 国内金融業クラウド活用事例 - OCLS支援内容 (DB/VMware/HPC)	<ul style="list-style-type: none"> 金融系サービス・プロバイダ (決済基盤) ※各業界毎に複数ご用意しています。

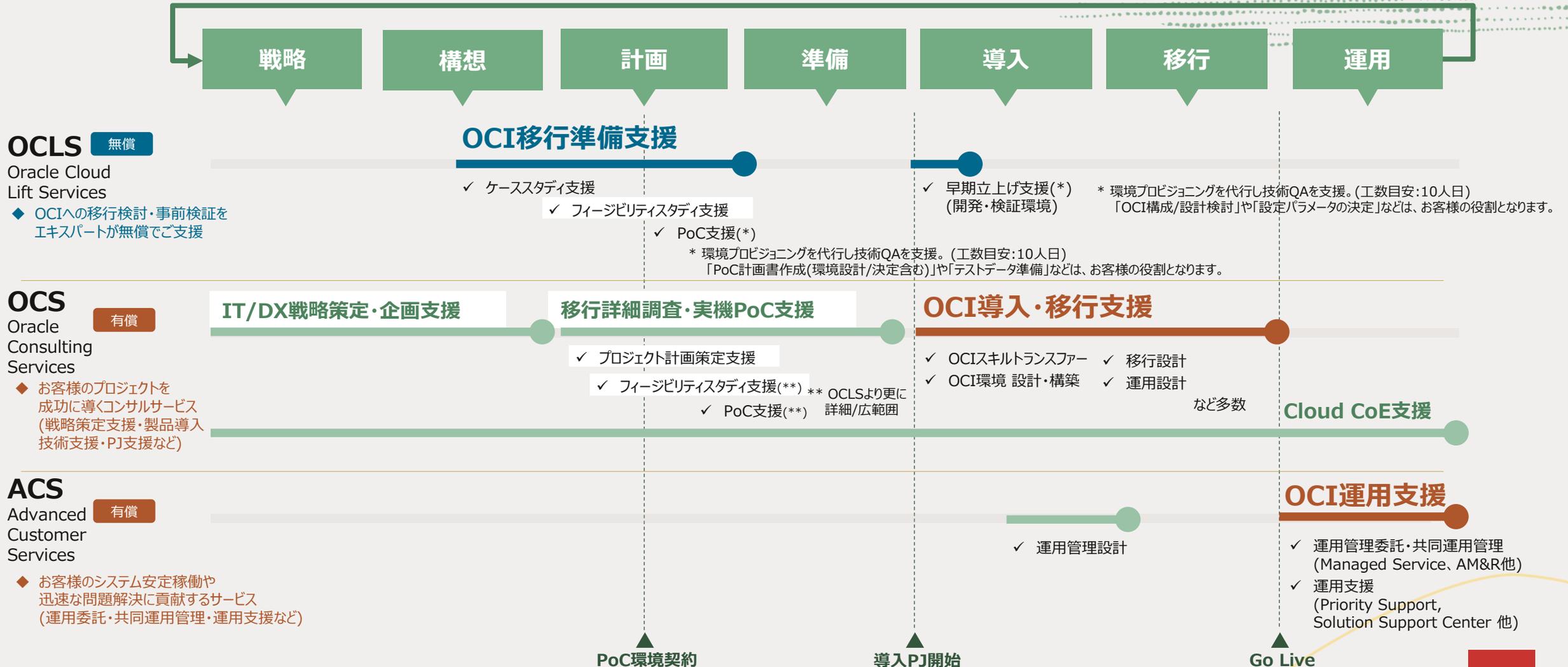


補足

- ・別途 Oracle Partner のご紹介も可能です
- ・OCIの製品保守・サポートサービスはクラウド契約 (サブスクリプション) に含まれます

(有償) OCI移行プロジェクト向けサービス群のご紹介 (概要)

OCI環境への移行に対し、プロジェクトライフサイクル全体をカバーする豊富なサービス群を用意



Oracleが提供する様々なクラウド・プラットフォーム

Public Cloud

Private Cloud

OCI Gen2



OCI Dedicated Region



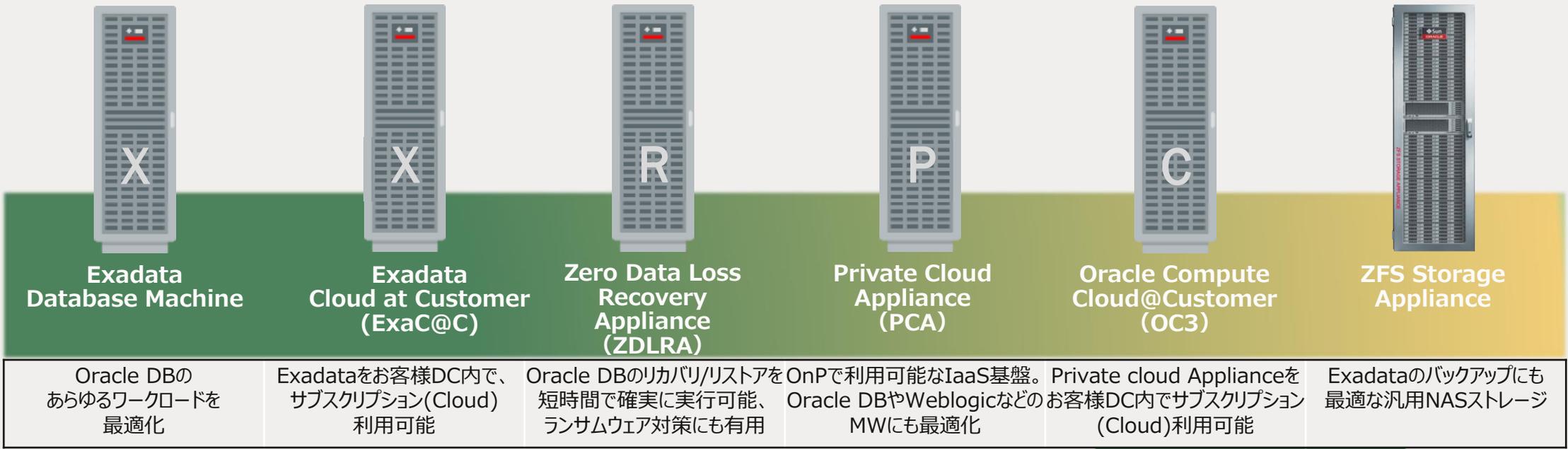
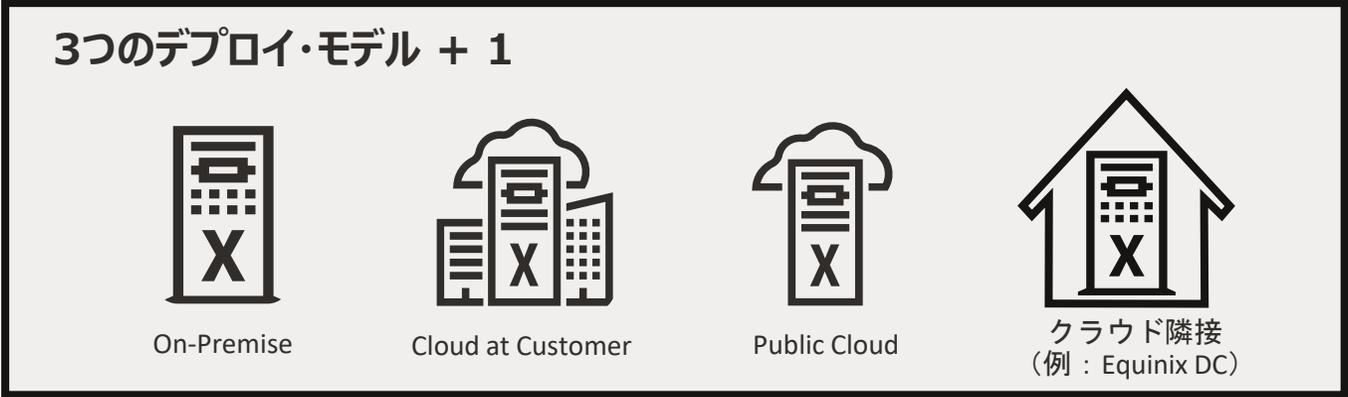
Oracle Exadata Cloud@Customer



Oracle Compute Cloud@Customer



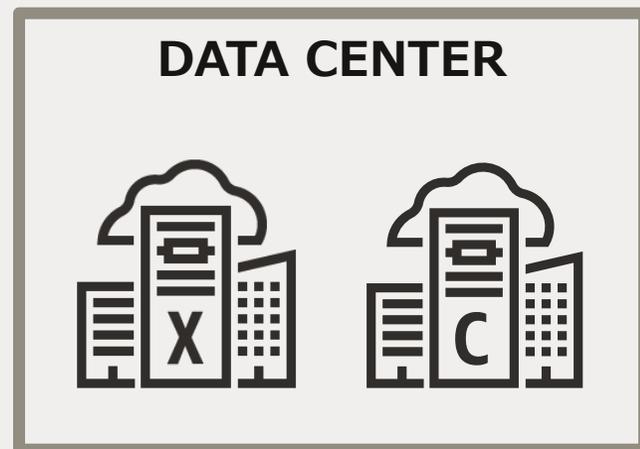
ベスト・プラクティス構成で最適化されたオラクルのEngineered System



Cloud@Customerモデルはクラウド化したいが すぐにはパブリック・クラウドに行けないお客様へのソリューション

お客様データセンターにクラウド

→データ格納先はお客様データセンター内



クラウドならではのメリット

変化に合わせて、 コストを減らす

- サブスクリプション + 従量課金
 - 少ないコア数からスタート
 - 未利用時にDB課金を止められる
 - サブスクリプションにサポートも込み
- リソース変更可能（オートスケールも）
- データ移動 / 移行が簡単

リスクを減らして、 運用も減らす

- オラクルがインフラを運用管理
- 高速で安定したDB性能
- 面倒な可用性構成が簡単に
- 面倒なパッチ適用が簡単に
- セキュリティへの配慮

お客様の悩み

- 基幹システムを全面的にクラウド化することの不安
- コンプライアンス等で、データを外部に持ち出せない
- すぐにはクラウドに全面移行できない



Cloud@Customerでオラクルがご提案できること

- お客様データセンターにデータを配置したセキュアなハイブリッド & Privateクラウド構成
- 将来的な全社パブリック・クラウド移行に向けての最初のステップ



Oracleが考えるクラウド化へのステップ



ORACLE